

1. 新型コロナウイルス感染症禍における 75 歳以上の一人暮らしの高齢者に対する支援策は

新型コロナウイルス感染症により多くの高齢者の方が外出を控え、自宅において長い時間過ごすことを余儀なくされている。

改定された「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の中で政府は、地方公共団体と連携し社会的に孤立しがちな一人暮らしの高齢者の適切な支援を行うとしている。またこの取り組みには社会福祉協議会や民生委員またボランティア等の方と連携した支援が必要と考える。

これを踏まえ、本町の高齢者への見守り支援について次のことを問う。

- ① コロナ禍における在宅の一人暮らしの高齢者の方の生活状況が心配される。アンケート等による状況把握強化は。
- ② 町の健康関係事業や自治会の事業自粛により、外出が減るなど身体の機能の低下や新型コロナウイルス感染症の心への影響が心配される。行政や社会福祉協議会、民生委員等の連携による高齢者への見守りへの取り組み状況は。
- ③ 冬を迎えるにあたりインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の増加が心配されるが、高齢者が発熱時など医療機関にかかる場合の周知強化を。